

2021年 謹賀新年



恩納村長
長浜 善巳

明けましておめでとございませう。

村民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、村政への温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、未だ終息の兆しが見えない、新型コロナウイルス感染症は、依然として世界中で猛威を振るい、村民の生活や経済社会に甚大な影響を及ぼしております。感染拡大の予防と社会経済活動維持の両立を図るためにも、感染症を終息に向かわせ、一日も早く、平穏な日常生活を取り戻し、この難局を乗り切るため全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。本村では、新型コロナウイルス感染症

症に関する国の施策に基づき、全村民に一律10万円を支給する特別定額給付金の支給をはじめ、村民の生活支援と売り上げが低下した事業者支援などを目的とした、村独自のコロナ景気回復支援、「村景気回復支援商品券」を村民一人ひとりに1万円分の商品券の支給を行いました。今後も村民の命と健康を守ることを第一に、感染防止策を徹底したうえで、地域経済活動の回復のための施策を推進してまいります。

さて、昨年を振り返ってみますと、令和2年4月、「村立うんな中学校」が新しい歴史の第一歩を踏み出しました。これまでの五つの中学校が築き上げた歴史と伝統は絶えることなく、次世代を担う子どもたちが夢と希望に向かつて、多様なことに挑戦し、郷土愛を育み、世界に羽ばたく人材育成に大きな期待を寄せております。また、県内屈指の景勝地「万座毛」においては、駐車場の不足をはじめ、周辺道路の渋滞、施設の老朽化が懸念されておりましたが、10月に飲食店や展望台を兼ね備えた施

設として生まれ変わりました。万座毛を整備することで、地域経済の好循環を確かなものとし、本村の地域資源を活かした新たな観光業の振興及び農林水産と商工・観光を立体的に掛け合わせた、魅力ある観光地形成の一助になることを期待するものであります。

そのような中、本村では村民一人ひとりが、豊かな自然を守る意識を持って、漁業や観光業を支えるサンゴと海の保全活動に、陸と海が一体となって取り組んでおります。この恩納村の取り組みが、SDGsの理念や方向性等と共通し、持続可能な開発目標の達成に向けた優れた取り組みが評価され、「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現と達成に向け、村民、各種団体、行政による幅広い活動を展開しながら、SDGsの達成に向けた普及・啓発に取り組んでいきます。